

十

生誕120周年

T A N A K A T a d a o

田中忠雄展

— 聖書を描く —

エマへの道



2023.

5.15 月 ▶ 7.15 土

関西学院大学博物館（西宮上ヶ原キャンパス時計台）

（阪急今津線「甲東園」もしくは「仁川」駅より徒歩15分、または「甲東園」駅より阪急バス5分「関西学院前」下車）

開館時間：午前9時30分～午後4時30分（入館は午後4時まで）

休館日：日曜日（入館無料）後援：西宮市



関西学院大学博物館

〒662-8501 西宮市上ヶ原一丁目1-155
TEL 0798-54-6054 FAX 0798-54-6462
<https://www.kwansei.ac.jp/museum>



生誕120周年

TANAKA Tadao

田中忠雄展

— 聖書を描く —

2023 5.15 (月) ▶ 7.15 (土)

●【開催記念講演会】●

「証しとしてのキリスト教美術」

講師：渡辺 総一氏

(キリスト教美術家)

日時：2023年6月13日(日)

11:00～12:40

会場：西宮上ヶ原キャンパス
大学図書館ホール

※申込不要、聴講無料



洋画家・田中忠雄(1903-1995)は、聖書を主題にした油彩画や礼拝堂のステンドグラスなどを手がけ、日本におけるキリスト教美術の進展に寄与しました。本展覧会では生誕120周年を記念し、関西学院所蔵の田中作品を一堂に集めて紹介します。

札幌に生まれた田中は、牧師の父が神戸女子神学校(後の聖和大学、現・関西学院大学)の教頭として赴任したことにより、11歳(1914年)のときに神戸に移ります。京都高等工芸学校(現・京都工芸繊維大学)卒業後は、建築の仕事をしながら洋画家の前田寛治(1896-1930)に師事し画家を目指します。戦前は労働者や風景を描いていましたが、戦後は画家としてどのような絵を描くべきかを模索し、自身のキリスト教信仰を背景の一つにして聖書をテーマに制作するようになりました。

本展でご紹介する作品はすべて聖書を題材にしたものです。田中は聖書に記された物語を描くとき、そこに自身の解釈を加えたり、政治や社会問題における自身の批判的な主張を重ね合わせたりしました。宗教的テーマを現代社会のなかで見つめることを大切にしていたのです。本展では、そのような田中の画業を、田中と関西学院のかかわりとともにご紹介します。



空の鳥を見よ 制作年不詳



トマスの疑い 1988年



ユダの足を洗う 1957年



マルタとマリア 1988年



善きサマリア人の話 1953年



『関西学院クリスマス音楽礼拝』のカット 1976年

◇休館日

日曜日

※詳しいスケジュールは、関西学院大学博物館ウェブサイトでお知らせしています。

◇開館時間

9:30～16:30 (入館は16:00まで)

◇入館無料

◇交通案内

電車 阪急電鉄「甲東園」駅または「仁川」駅下車 徒歩約15分

バス ・阪急電鉄「甲東園」駅から約5分「関西学院前」下車

・JR「西宮」駅から約20分「関西学院前」下車



関西学院大学博物館

〒662-8501 西宮市上ヶ原一丁目1-155

TEL 0798-54-6054 FAX 0798-54-6462

<https://www.kwansei.ac.jp/museum>